

授業改善書

科目名	教職概論
担当者	吉野剛弘

授業の概要

教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容を講じる科目として、最初に教育についての基本的な諸概念について、教えるという行為に関わって解説した。その上で、教員という職業がどのように考えられてきたかを概観しつつ、今日の教員に求められる資質を考察した。これらの基礎的、歴史的な視座をふまえて、教員の生活や教員に関する法制について、今日の状況を中心に解説した。

例年は毎授業時にグループディスカッションを織り込み、さらには小レポートを書かせるのだが、昨年度に引き続き密を避けるという観点よりグループディカッションを行わなかった。

授業の問題点

一部クラスの回答率が低いのが気になるところだが、アンケートの数値を見る限り、特に問題として取り上げる点は見られない。昨年度は半分の期間がオンラインで、残り半分が対面（グループ分割なしの通常の授業と同じ形式）で、今年は全面対面という例年通りの方法に復したが、それでも大きな変化ないことを勘案すると、喫緊の改善を要する重大な問題はないと考えてよいものと思われる。

学生の授業満足度

満足度に関する質問については、2 コマとも 4 点台中盤である。昨年度とほぼ同じ数値（昨年度は 4 点台前半と中盤）であり、おおむね妥当なラインだと考えている。

授業改善の課題と方策

また、昨年度よりグループディスカッションを入れなくなっているが、授業開始時レポートをウェブ（MicrosoftForms）で回答し、全レポートに目を通した上でコメントすることで、一定の水準は維持できている。授業時間外の負荷は増えるが、授業時間の確保の観点からもしばらくこの方法を継続していきたい。

その他

特になし。